

観覧無料

令和三年度

特集展Ⅰ

密教仏画の至宝

Season 3

犬日金輪仏頂像 4期に展示

2021 6.22 [火] >> 2021 10.3 [日]

- 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日(月曜日が祝日と重なった場合は、翌平日を休館とする)
- ギャラリートークの実施日 7月・8月・9月の第4土曜日 10:00～10:30

※ 期間中 4 週間おきに計 4 回の展示替えを予定

 大分県立埋蔵文化財センター

〒870-0152 大分県大分市牧緑町 1-61
TEL 097-552-0077 FAX 097-552-0700
<http://www.pref.oita.jp/site/maizobunka/>

Facebookもチェック

 @oita.maibun

主催 大分県立埋蔵文化財センター／協力 願成院・観音寺(竹田市)
後援／大分合同新聞社 NHK大分放送局 OBS大分放送
TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送

関連考古学講座

「願成院の歴史と密教」

令和3年 9月15日(水)

大分県立埋蔵文化財センター 第2講座室

密教仏画の至宝 Season 3

江戸時代の初めに建立された愛宕山願成院は、岡領における最重要な寺として位置付けられていました。主に領内の安寧と公的な行事における祭祀を司っており、それを物語るように、様々な祭祀に応じるように多種多様な仏像、仏画が残されています。また願成院に残る古文書や仏画に書かれた墨書には、仁和寺、醍醐寺など京都・大阪・奈良周辺の有名寺院や高僧との交流を物語るものがあり、密教寺院として広く知られた寺であったようです。

残された仏画をみますと、仏画制作の中心地であった京都で作画されたと思われる仏画が大量に含まれていることが分かってきました。それらの特徴は、優雅にして華麗な仏や凄みのある仏が含まれるなど、優れた絵師による作画とみられます。

大分県立埋蔵文化財センターでは、これまで2回にわたって願成院の仏画を展示してきましたが、まだ全貌の紹介にはほど遠いところです。今回は人々に広く信仰されてきた釈迦如来や観音菩薩などの仏画や、前回の展示で人気のあった仏画をご紹介します。



准胝観音像 江戸時代
[1期に展示]

展示構成

※ 期間中、計4回の展示替えを予定
資料状態により変更有

- 1期 観音への信仰 2021年6月22日(火)~7月11日(日)
- 2期 方角を護る 2021年7月13日(火)~8月9日(月)
- 3期 釈迦への信仰 2021年8月11日(水)~9月5日(日)
- 4期 仏は細部に宿る 2021年9月 7日(火)~
2021年10月3日(日)最終日

主な展示仏画

- 1期 観音菩薩来迎図 江戸時代末
- 如意輪観音菩薩像甲本 江戸時代
- 如意輪観音菩薩像乙本 江戸時代
- 准胝観音像 江戸時代
- 2期 十二天屏風(六曲一双) 江戸時代
- 3期 金光明最勝王経曼荼羅図乙本 江戸時代
- 釈迦三尊十六善神像 江戸時代
- 仏涅槃図 甲本 江戸時代
- 仏涅槃図 乙本 江戸時代
- 十六羅漢像 江戸時代
- 4期 一字大日金輪仏頂像 江戸時代
- 天弓愛染明王像甲本 江戸時代
- 孔雀明王像 江戸時代



孔雀明王像 江戸時代
[4期に展示]



仏涅槃図乙本 江戸時代
[3期に展示]



- 自家用車では、大分駅から滝尾橋ルートで約10分。
- バスでお越しの際は、(大分駅前(6)番乗り場) 大分バス「一里塚」行きで14分、「牧」バス停下車、徒歩2分。
- JRでお越しの場合は、日豊本線 牧駅下車、徒歩6分。
※ 大型バス駐車可能、普通車200台程度駐車可能。



レキシカくん マイカちゃん